

公開シンポジウムのご案内

一関市大東町の金秀弥家は古代以来の系譜を持つ旧家で、江戸時代は磐井郡内の広域行政を担当する大肝入を務めるなど、地域の発展に深く関わってきました。金家には数万点にも及ぶ古文書が残されており、現在、その調査が進められています。今回は金家文書から江戸時代の磐井を読み解きながら、郷土の歴史について考えていきたいと思います。何卒ご参加のほどよろしくお願いします。

テーマ 磐井の江戸時代をほりおこす

一関市大東町・金家文書の世界

日時 平成 27 年 6 月 20 日(土)14:00～16:30

会場 大東コミュニティセンター 室蓬ホール

※岩手県一関市摺沢字街道下 25-3 / J 尺大船渡線
摺沢駅下車すぐ (一ノ関 12:45 発・摺沢 13:28 着)

主催 東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料科学研究部門
NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク

共催 一関市教育委員会

後援 興田史談会 / 大東郷土史研究協議会

講演 「金家文書との出会い～史料保全活動の経緯～」

佐藤大介 (東北大学災害科学国際研究所准教授)

「山論史料から見える江戸時代の東山

～境塚・山論絵図・草飼～」

高橋美貴 (東京農工大学大学院農学府准教授)

「芦東山の弟子金孝蔵」

張 基善 (芦東山記念館学芸調査員)

＜参加方法＞ 申込不要・入場無料

＜講演のお問い合わせ＞ 東北大学東北アジア研究センター上廣部門

TEL/FAX: 022-795-3140 E-mail: yoiichi.takahashi.e1@tohoku.ac.jp